

| | | | | | |
|----|-----|---|----|---|---|
| 局長 | 一課長 | 六 | 二勇 | 五 | 七 |
| | | | 文 | | 四 |
| | | | 始 | | 〇 |
| | | | 〇 | | 〇 |
| | | | | | 〇 |
| | | | | | 〇 |
| | | | | | 〇 |
| | | | | | 〇 |
| | | | | | 〇 |



東京通信隊・聯合艦隊口・佐通・高通
石垣島警備隊

機密第二〇一八四一番電

官古警備隊
七四〇
電二〇一六〇
航作概本〇

708

昭和廿一年四月廿七日

宛 高雄警備府司令長官

通報 聯合艦隊參謀長 佐訓參謀長 大海

二十日戦闘概報米艦上機延三四機〇七〇五ヨリ一六三〇 三次ニ
互リ飛行場其ノ周邊ヲ銃爆撃市街地ニ焼夷彈投下戦果被害ナシ

通一三二七 呂一〇ケ一二（五二〇〇）佐通 小官（細川）

昭和廿年六月廿三日

六二一 受信一六四三 歸了一七三〇 電自一〇七七三四 補般

至急

母島警備隊

通。横

父島方面特根

機密第二〇二三〇五番電 九分ノ二三五六七八九

宛 横須賀隊長 軍需部長 運輸部長 横須賀施設部長

横須賀工廠長 横須賀軍醫長 施設本部總務部長 軍務局

糧食生産班長

母島機密第一〇七五五番電及機密第一二二一四七番電關聯

第三〇四設營隊機密第一二一三五五番電關聯

次期輸送艦ニテ緊急輸送要望物件左ノ通

砲術長主管六番陸爆用噴進器十五同三式噴進器三〇〇又ハ十五連迫撃

通 口一B分一二二一二六E(普通)

三三三三
三三三三
三三三三
三五八

三三三三
三三三三
三三三三
四四六

宇田(八保田)

(1)

砲八門同發射裝藥（發火裝置共）三〇〇發分手榴彈三〇〇〇 九九
 式小銃一〇〇〇同彈藥一八〇〇〇小銃發射筒（發射藥共）二〇〇
 二〇糶噴進砲（彈藥共）二一A型乾電池二〇〇 六・五V電球二〇〇
 一二糶高角砲彈藥一五〇〇 二五糶機銃彈藥五〇〇〇 八糶噴進砲
 彈藥六〇〇 八一式爆雷投射機單裝五爆雷投射機一〇〇同投射裝藥一
 〇〇 九一式火花電氣信管一〇〇鐵兜七〇〇電話線四〇〇〇米通信
 長主管ⅡⅢ式短移動無用一K・V・A發電機（七五V）二同燃料
 管一〇本ビ式一燭電球（五V又ハ六V）五〇檢波電球一〇〇Z四一・
 二七乾電池三〇連二型七〇個平角二型一二〇航海長主管手回サイレン
 大三内務長主管酸素五〇本カーバイト五〇本萬能旋盤一
 （以下九分ノ五六七八九）
 （四〇型液箱通風器附屬品共）一〇防毒面三〇〇軍醫長主管
 一、二、三號外科器各一。一號オス救急箱二〇治療品三四〇〇人分年
 額スルオアダアニヂン三〇〇瓦スルオアソール劑一〇〇〇瓦スルオ
 アピルポン一〇〇〇瓦アトラミン注射液五〇〇個主治長主管糧食三

昭和廿年六月廿參日

四〇〇人分六ヶ月分戰給品酒保物品三四〇〇人分六ヶ月分地下足袋三〇
 〇〇足或帳(並五〇度二〇)七〇種子不斷草二斗南瓜五斗時無大根六斗
 小松菜二斗山菜三斗農藥砒酸鉛一〇〇箱硫酸ニコチン七五立過燐酸石
 灰一〇〇俄震洋隊關係塗具(鼠鏽止黑白)各一〇〇疋兵器試驗燈六〇箇
 濃硫酸八〇立インダクシヨンコイ二〇個コンダクシヨンアーム一五個コ
 ンダクシヨンポイント一五個コンデンサー一〇個酸素ガス二疋乾電池(一
 二二・五V)五〇個電纜絶縁ゴム帶(ブラックテープ)一五 二型携
 帶電話器電池三〇個設營隊關係兵器手榴彈二〇〇〇發七耗七機銃五挺同
 彈藥四〇箱輕機銃三挺同彈藥二〇箱十三耗機銃彈藥三〇箱二十五耗機銃
 彈藥六〇箱擲彈筒用彈藥五〇〇發野砲二門同彈藥四〇〇發八種噴進砲二
 門同彈藥五〇發以上三〇四設營隊重機二三輕機銃五各彈藥三萬發以上三
 〇九設營隊資材(三〇四・三〇九設營隊共)ダイナマイト三〇〇箱雷管
 四箱導火線四〇〇〇〇米セメント三〇〇噸防毒而濾過器(附屬品共)八
 箇

本電「軍需部長 運輸部長」ハ横須賀製作ト認ム
 本電九分ノ四未着

人

六二一 受信一三四九 譯了一四三〇 電一〇三〇八 航作概本〇
譯始一四二〇

作戰緊急

九空襲部隊

九空襲部隊作戰命令着信艦所



機密第二一〇五四番電

九A電令作第七號

一、第一次櫻作戰發動

二、宜蘭零 戰隊可動全力地點「ウモニイ」附近航空母艦攻撃スベシ

攻撃時刻ヲ一八三〇トス

三、偵察隊ハ右敵部隊ニ對シ一四三〇以後觸接ヲ持續スベシ

通一一四八二 於十七(五二九五K) 六F放

小林(大見)

昭和廿年六月廿貳日

六
三三
三二
受信一九一五
譯了〇四三〇
電自一〇五九六
作概〇

作

● 精通父通
● 大艦隊一部

● 母島警備隊

昭和廿年六月廿八日

機密第二一〇八二二番電 五分ノ六、六五

宛 父島根據地隊司令官

通報 橋領參謀長

當方面ヨリノ情況判斷ヲ申告

一、最近敵ハ南西諸島方面ニ前進根據地ヲ確立我九州ニ對シテ第一

線マリアナ基地ト呼應戰爆航空攻撃ヲ強行スベク又潜水艦ヲ以テ

スル沿岸各地ヲ奇襲スベシ今次沖繩方面敵海上兵力ノ甚大ナル損

我本土ノ激撃態勢確立トニヨリ早急ナル(茲一年以内)我本土へ

通二二六〇四 一六二四 呂一Bケ一ニ(一)二六四(精通放)
二二六九二

小宮(甲田) 穴戸(塩田)

| | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|
| 局長 | | | | | | | |
| A | | | | | | | |
| B | | | | | | | |
| E | | | | | | | |
| J | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

ノ敵上陸軍、侵攻ハ考ヘラレズ

ニ(イ)大東亞各戰域ノ當面ノ敵殲滅戰ヲ爲シ時ニ沖繩作戰ヲ支援ス

(ロ)當面ノ敵補給路ヲ擊破

(ハ)我本土ノ邀撃綜合戰團準備ヲ強化

(ニ)米本土及補給路ヲ攻撃ス

(1)潜水艦

(2)深度ニ米ノ浮游機雷多數ノ使用(海潮流ヲ利用艦索艇ヲ使用)

等ニ依リ攻撃

(ウ)北海道朝鮮方面ハ戰備強化ト増員ヲ要ス

(エ)朝鮮及大陸トノ交通路ヲ確保ス

(オ)對ソ聯關係ニ考慮ヲ拂フ

(カ)小笠原島守備部隊ハ強弱不拔ノ戰備ヲ確立ス

下

六
二二二 受信二〇七三九
二二二 譯始〇七三九
譯丁二二五八 電一〇八三一

作
編
昭和廿年九月廿三日

至急

東・高・通

高通第三分遣隊

休

機密第二一一〇三五番電 二分ノ一二

發 高根

宛 高雄警備府

機密第一〇一九一二番電返

一、特ニ農作物ヲ對策トシテノ攻撃ハ認メラレズ

二、撒布セル病虫菌ガス等ナシ

三、前諸項關聯ノ被害ナシ

四、銃爆撃ニ依ル一般被害左ノ通

(イ) 甘蔗畑ノ火災八〇〇甲 (原料七・五〇〇斤)

(ロ) 水田ノ埋没五〇甲 (角筥玄米一一石)

(ハ) 甘蔗畑ノ埋没略前號ニ同シ

(ニ) 農民及牛等ノ被害終日アリ。

通 一六四三 呂一Bケ十二 (一三五二〇KG) 高放

甲 (山中)



六二二 受信一八二二
開始二二五三

了二三三一

電一〇四四二

航作橋本

至急

鹿屋航空基地

六航軍派海軍通信隊

機密第二一一二〇二番電

發 五 A F 參謀長

宛 六 A F 參謀長

一、種子島基地ニ對シ二十五番二〇發航空燃料四〇坪殘置貴軍ノ使用

差支ナシ

二、三一號爆彈ノ取扱ヒハ特殊ノ技術ヲ必要トシ機體ニ簡單ナル改修
ヲ要スルニ付攻撃時ノ出發基地ヲ鹿屋トセラレ度

通一一七〇四 呂一B (七八七五 KC) 一 K F G B 放 筒井 (玉谷)

昭和廿年六月廿貳日

六二一 受信 一六三〇〇 譯了 二一一四 電 一〇三七六 災 病

電信課
第十課

● 二 一 通
● 第二 水 川 丸

機密第二一二二五番電

副官

ジャカルタ在勤武官

宛 通 報 一〇二軍需部

第二水川丸賣地入港ノ際當屬司令部接待用品トシテ先般水川丸便ニ

依願セシト同量ノモノ購入搭鞍方御取計相成度諸作業代金ハ第二水

川丸主計長ト當部分任出納官吏間ニ於テ經費振替ニ依リ處理致度

通一一五六六

夫一〇七一

（）（）（）（）（）

（）

人

六二一 受信一五三八 譯丁一六二五 電一〇三〇七 辨概〇
譯始一六一〇

作戰緊急

佐鎮大島方面部隊



佐鎮口・五航空艦隊各P・海軍總隊口

機密第二一一二二九番電

信電令作第五號

一 飛行機偵察ニ依レバ本二十一日〇九二〇大島海峡東口ノ六〇度一三五

度ニ敵機動部隊一隊(空母ヲ含ム戰艦二隻巡洋艦三隻其ノ他十數隻)

アリ

二 當方面ニ對スル攻路部隊行動ノ算アリ

三 各隊ハ豫定ノ機隊配備ニ就キ警戒ヲ嚴ニスベシ

通一一五二五 於十七(一九八三〇RC)佐二放 武藤(飯田)

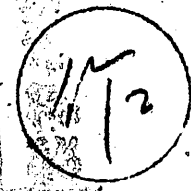
昭和廿年六月廿五日

作戰緊急

六二一 受信一五四一 譯始一六一五

譯了一六五五 電了〇三〇一

昭和廿年六月廿五日



天航空部隊作戰命令着信艦所

岩川航空基地

機密第二一一二五六番電

發 岩川某部隊指揮官

夜戰除菊水一〇號作戰實施要領左ノ如シ

一、機種機數發進時刻攻擊目標攻擊時間 彗星五機二〇〇〇伊江航空基

地二二〇〇 彗星五機二二〇〇伊江島航空基地二三〇〇 彗星四機

二二〇〇伊江島航空基地〇〇〇〇 彗星四機〇〇一五伊江島航空基

地〇二一五

二、零戰六機〇二三〇發進索敵攻擊北龍一四〇度一八九〇度間 度一〇

度進出距離一五〇哩測程左折一五哩零戰四機二〇〇〇以後遊擊三〇

分間待機。

通一一五一〇 口一〇ケ一二一七八七五KC (一KFGB 富田(竹内)

40

六二一 受信一七五三 譯了一七五五 電一〇三四七 航作 本 〇

傍

海軍總隊P・五航空艦隊P

鹿屋航空基地

機密第二二一四一一番電

發 第十二航空戰隊司令官

宛 G B 第五航空艦隊參謀長

敵情並ニ陸中練ノ性能ニ鑑ミ南九州方面及四國方面敵上陸作戰ノ何
レニモ對應シ得ル適性關配備ニ依リ當隊特攻機ヲ七月上旬迄ニ左ニ
依リ分散伏機スルヲ適當ト認ノラルルニ付然ルベク配慮ヲ得度
一各基地分散機數ハ格納道整備狀況ニ依ル
二前記展開基地ハ第十二航空戰隊電令作第四八號參照
三分散後搭乗員ハ原隊復歸訓練スルモノトス。

通一一五三二 口一Bケ十二(一〇二六五KC)五A P P

露出() ()

昭和廿六年六月廿五日

至 急

六 二 一

受信二二〇二六
譯始一一〇〇六

譯了二二三〇 電一一〇七四

譯

昭和廿年六月廿參日
通

● 南海特情着信鑑所

機密第二二一五四〇番電

三分ノ一

南海特情綜合（六月中旬）

マバリツクババン方面ニテ目下諜知事項左ノ如シ

(イ) 六月十一日以降（ニュートギニア）（モロタイ）方面ニ連日出現十

二日以降特ニ活潑トナリ作戦部隊指揮官トノ關聯密接ナリ

(ロ) 哨戒機ノ出現狀況ニ依リ本十八日頃有力空母ヲ含ム一部隊（バリ

ツクババン）方面ニ到着ノ算アリ

(ハ) 十三日以降攻撃機ノバリツクババン爆撃熾烈化哨戒亦バリツクバ

バン。

（東通註 誤字多ク翻譯困難ニ付キ遅延）

（信課註 本電三分ノ二既配布三分ノ三未着）

一七〇〇 一七〇八（一七五九〇）

生（佐藤）

傍

着

先遣部隊

機密第三二七二番電

緊急

索

苦

符

六二一受機三〇七三
款三三四五
了〇〇〇〇
電一〇五九二
作概〇

昭和廿年九月廿貳日

E B 綜合情報第九〇號

一敵機動部隊 〇九二〇 (カ) 21 附近三群 空母 (一) 敵艦二巡洋艦

三及 A 四 C 六 (ホ) 十 55 附近一群 (空母) 今 (カ) B 二 C 三 (ア) 一

二〇八四一菊水十號 作戦

三二〇日 敵機動部隊 (A) 先遣部隊 (大島島) 二 未 艦 夜 又 一。

通 二六八 吉 呂 一 日 丁 十二 (五九五配) 吉 下 口 放 丸山 (傍) 〇

報

八

六二二

受信開始 〇三〇四〇二

譯了一六〇〇 電一〇八九九

航作概本〇

至急



東京通信隊。海軍總隊口

佐鎮口・高根P・馬根P・厦根P・二港支艦隊口
支那方面艦隊P・五航空艦隊P・二九航戰P・高雄警備隊
宮古、石垣島各警備隊・臺南、新竹各航空基地、基隆警備隊

機密第二一一七四五番電 二分ノ二

三 戰果 B 二四 一機擊墜二機擊破 (新竹基地)

四 被害

(イ) 新竹基地 (機密第二〇一五三八番電ニ依ル被害ハ左ノ通訂正ス

天山六機炎上 九六式陸攻九七艦攻各二機被彈死傷者 (十一名)

(ロ) 馬公機雷庫ニ (内一ツハ空) 大破。

電信課註 本電二分ノ一既配布
東通註 本電問合セノ爲導延

通一一九一四 早一Bケ一二 (六七E) 佐二行 小森 (細川)

昭和廿年六月廿參日

昭和十年六月廿五日

六二一 受信三〇三三 譯了二一四九 電一〇四一二 作概〇
譯始二一三一 航本

緊急



天 一 號 作 戰 部 隊 新 隊 P
大 島 防 備 隊

722

機密第二一一八一二番電

一四四三五四〇一 十六機來襲内十機住家及沿岸方面攻撃ス
戦果撃墜八機害輕微尙數機ノ編隊三行動スルヲ認ム如キ攻撃セズ

第一一六五 日六十二(九八三〇) 佐二放 星子(半 卷)

至六
急

二二二

受信二二〇〇
譯始〇二二五〇〇

譯了〇三二二五

電一〇五〇七

航作
本〇

作

翰 阪 警尸
東 通、木更津、鹿屋各航空基地

霞 ヶ 浦 航 空 隊

723

機密第二一一一九二三番電

一〇AF 參謀長

大阪警備府 參謀長

通報 三AF五AF各參謀長 人事局長 軍務局長 軍令部第一部長

軍令部第二部長 航本總務部長

海人三機密第三號ノ一一一ニ對スル兵力移動ニ關シ表ニ一〇AF機密
第一五八號ノ四ノ二ニ依リ照會致置キタルトコロ未轉入セラレズ當方
トシテハ至急作戰準備ヲ完成致度ニ付右兵力移動期日至急通知サレ度。

通一一七〇六

ロ一三二二(四七四二五K)十一日 葉(竹内)

昭和廿年九月廿五日

六二二 受信二一五八二 譯了二二〇〇 電一〇四五三 補送◎

◎ 佐領區敵情着信艦所

◎ 久米島見張所

機密第二一一九四〇番電

○五〇〇ヨリ一九三〇迄ダグラスシヨルスキー機九〇度方向ヨリ 飛上旋回九〇度方向ニ避退ス。

機二一七七七於一五八九〇機一佐三放

山崎(増田)

海軍

六 三二 緊急

受信 〇〇四〇〇五

譯了 〇六一〇 電一〇六一六 作概 〇

共 符



二五根戰艦報告信艦所。三兩遣艦隊各ト。三兩遣艦隊尸

機密第二二二二二〇三番電

二九警備隊戰艦概報二十一日

二二一三〇單發二テルヲテ銃撃戦果被害ナシ

ニタルバ出港一六〇〇驅逐艦三海上トラツク一五舟艇二四針路北西

入港驅逐艦四小型一(半載)碇泊一四〇〇大形一七中型八小

型八油槽船三特務艦一巡洋艦一驅逐艦二二驅潛艇一〇魚雷艇八海

上トラツク二六大型上陸用舟艇二五舟艇四〇一四三〇魚雷艇二

スブナイ砲二

三〇ロクイ發機針路北乃至西大型四一中型九飛行艇二小型三計五

通一一七九八 呂一八二一八(六一二二、五〇〇)二二通 久保田(小澤)

昭和廿年九月廿五日

六二三 受信〇〇四四八 開始〇四三八 了〇七三〇 電一〇八二四 作概〇



千島防備部隊戰鬪概報着信艦所・N日情報着信艦所

機密第二一二三四二番電

二分ノ一

二十一日來襲狀況

一P五型二機〇七一〇超低空ヲ以テカゲノマ南東方ヨリ南南西

ニ向ヒタルモ反轉遁走セリ

二(1)戰果陸軍高角砲ニ依リ五撃破

(2)被害アリ

二十日來襲狀況ニ目下ノ處判明ナルモノ「セミチ」B1二四

型二機一四一〇羅處和島ヲ經テ松輪島一〇〇班級爆彈一〇投

通一 下遁走〇 天二Bケ一ニハ(未着) 月(上野)

昭和廿年六月廿三日

人

六

三三

受信一四三三六
開始一四三三〇

丁一五二〇

電一〇八四四

作概〇

至急



千島防備部隊
千島防備部隊戰鬪概報着信艦所

機密第二一二三四二番

二分ノ二

一四三〇新知灣頭ニテ日魯漁船九隻及驅潛特務艇ヲ銃撃セリ

四(イ)戰果ナシ

(ロ)被害戰死一負傷三漁船乗組員戰死一負傷者二驅潛特務艇及漁船四隻ハ一七〇〇迄ニ入港外不明

五爾今特別ノ場合ヲ除キ日魯情報ト來變狀況ヲ綜合日魯情報着及千島防戰鬪概報着信艦所宛ニテ發電。

電信課註 本電二分ノ一既配布

通一二〇七一

天二日ケ一二

大通

久保田(金森)

昭和廿年六月廿參日

孝

作

六二三

受信 〇〇三二〇〇

譯了 〇五三〇

電 一一一〇〇七六

航作 概本〇

至 急

岩川空地

藤枝空地。天航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第二二〇七五六番電 二分ノ一、二

岩川海軍大黒山部隊戦闘概報第三三號

一、彗星六機二〇〇〇一〇一〇一〇發進〇〇三〇迄四機降着内伊江島航空

基地中飛行場ヲ攻撃セルモノ各一機。一機天候不良ノ爲一機發動機

故障ノ爲引返ス。被害一機未歸還一機志布志灣ニ不時着（偵察員無

事操縦員不明）

二、零戦六機〇三四〇一〇四〇〇發進豫定 コース第一回索敵セルモ敵

ヲ見ズ。〇六一五零戦三機降着 岩川ニ着陸不能ノ爲二機宮崎ニ降

着一機消息不明

三、沖繩附近天候曇雲量一〇 雲高二〇〇〇米以下ニシテ飛行場發見困

難ノ爲爾後ノ攻撃隊ノ發進ヲ中止ス。

通 一三四五六

呂一Bケ十二（七八七五KC）一KFGB放

杉山（山中）

0382

昭和二十六年四月四日

728

人

六三三

受信一五一〇
開始一六一三

譯丁一七一〇

電一〇八七九

作概〇・航本

緊急



聯合艦隊中・五三艦隊隊中・三一戰隊中・?

機密第三三一一〇八番電

利本

發 梨 艦 隊 長

小積ニ於テ梨艦〇九四五ヨリ一〇三〇迄八一二九 一四三機ハ吳攻撃ニ
向ヒシモノヲ遊撃戰果被害カシ發射彈數梨艦〇發射一〇〇發

通一三九一

呂一〇ケ一二(七五〇五艦)吳通

仲榮眞(深見)

昭和廿年六月廿參日

六

二二

受信

二〇一四

丁

三三〇

一

一一〇〇

四四二

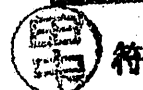
作

概

昭和廿年六月廿三日



| | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 局長 | | | | | | | | | |
| 部長 | | | | | | | | | |
| 次長 | | | | | | | | | |
| 課長 | | | | | | | | | |
| 主任 | | | | | | | | | |
| 係長 | | | | | | | | | |
| 主任 | | | | | | | | | |
| 係長 | | | | | | | | | |
| 主任 | | | | | | | | | |
| 係長 | | | | | | | | | |
| 主任 | | | | | | | | | |
| 係長 | | | | | | | | | |



七十二空襲部除職團概報着信艦所

機密 二二二二二二〇番

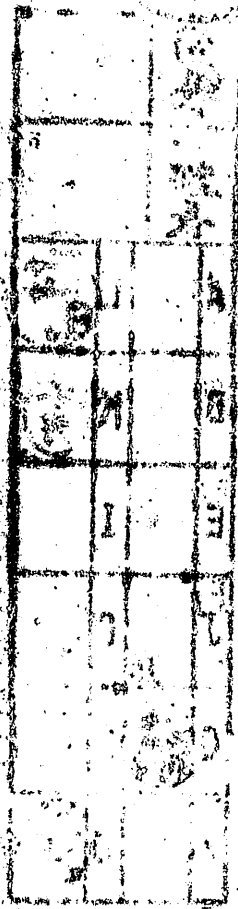
二分ノ六二

三三二部除職團概報 (六月二十二日)

一〇七一〇頃潮岬附近ニ到達セルヨリ二九約一四〇機ハ紀伊水道南岸ニテ。集結〇八二〇頃ヨリ北西進シ〇九三五迄賀懸ニ於テ分進和歌山徳島脚戸。姫路、明石、岡山附近ヲ爆撃後 〇九一〇ヨリ一〇〇ノ間紀伊水道ヨリ脱去 〇七四五ヨリ〇九一〇ノ間熊野灘ヨリ侵入、日二九約五〇機ハ紀伊半島中部大津米原ヲ經テ東海ニ侵入他ノ足摺南方ニ到達セルヨリ二九約一七〇機ハ豊後水道ヲ北進吳附近爆撃後一〇〇〇ヨリ一〇〇〇、四國中部及阿波灘ヲ經テ脱去セリ 零式戰團機一八雷電艇

一〇〇〇、四國中部及阿波灘ヲ經テ脱去セリ 零式戰團機一八雷電艇
 一〇〇〇、四國中部及阿波灘ヲ經テ脱去セリ 零式戰團機一八雷電艇
 一〇〇〇、四國中部及阿波灘ヲ經テ脱去セリ 零式戰團機一八雷電艇

稻野江岡 (川口) (1)



十機月光三機琴原三機合計三十四機ハ〇七一〇ヨリ逐次發進田邊、鳴尾
 淡路島大阪播磨瀬上空ニ之ヲ邀撃一一二〇零戦一機ノ外歸着
 二戰果 擊墜五機(一機機體當ニ依ル) 擊破八機
 被害 未歸還零戦一機(陸當機)

(2)

六二二

受信一七四六

譯了九〇四

一〇九七七

作概

昭和廿年六月廿三日

至急



東通

大阪通信隊

各鎮

機密第二二二二二三〇番電 二分ノ一二

發 大阪警備府司令長官

宛 海軍大臣。軍令部總長 橫領長官 〇〇長官

通報 各鎮守府長官 航空本部長

戰國概報 二三號其ノ一

六月二十二日〇八〇〇ヨリ約二時間半ニ百リヨリ二九約三五〇機紀伊

半島及室戸方面ヨリ管區内ニ侵入其ノ主力約二五〇機ハ吳鎮管區内ニ

侵入一部ハ約五〇機串本、田邊、御坊(日本アルミ)、和歌山、明石

姫路(川西航空分砂工場)網活ニ爆彈及焼夷彈投下他ノ一部ハ奈良京

都~~滋~~賀方面ヨリ濱名湖方面ニ侵入

三戰果

東通註

海軍總隊通報濟

坂本(川口)

馬場

六
二三 受信二一〇六 譯了〇三二〇 電一一一六四
二三 譯始〇一五五
昭和廿年六月廿參日
作航概本

二七 航戰

共符

第七二空襲部隊戰團概報着信艦所

機密第二二一二五〇番電 二分ノ一

三三二部隊戰團概報（六月二十二日）

一〇七一〇頃潮岬附近ニ到達セルB二九約一四〇機ハ紀伊水道南岸ニテ

集結〇八二〇頃ヨリ北西進シ紀伊水道ニテ分進和歌山徳島神戸姫路明

石岡山附近ヲ爆撃後〇九一〇ヨリ一〇〇ノ間紀伊水道ニ脱去〇七四五

ヨリ〇九一〇ノ間熊野灘ヨリ侵入ノB二九約五〇機ハ紀伊半島中部大

津米原ヲ經テ東海ニ退去他ノ足摺塔南方ニ到達セル。

（電信誤註 本電二分ノ二未着）

通一二二五九 呂一B分一二（七八七五KG）一KFGB 西原（岩崎）

昭和廿年六月廿三日

六二一 受信一四三五 譯丁一六一〇 電一〇八五六 作概〇・潛艦
三三 譯始一六〇一

至急

共

符

733

作

大本營海軍部・先遣部隊
聯合艦隊

吳鎮平

機密第二二一三〇八番電

發 第六艦隊長官

本日午前吳軍港敵ノ空襲時麾下潜水艦其ノ他被害ナシ

通一三二一〇一 呂一B分一二(五二九五KG)六P放

高田(深見)

6880

ア
イ
シ
タ
シ

六二二

受信二二二〇〇
開始二二二〇〇

了二二五〇 電一一〇七五 作藏〇

緊急

作

ベナン陸上通信機

【通報表示】 マラツカマンダマン方面對潛情報着信監所

機密第二二二一三三〇番電

宛 九司司令

ランカイ島(タバンバダ)ヨリ北約三但ノ地點ニテ軍監ト敵艦ノ砲撃ヲ受ク 一二三〇

通一二二六五 佐 二二七〇九〇(五)十通

武蔵(小澤清)

昭和廿年六月廿參日

734

昭和廿年六月廿參日

六三二 受信二〇八四六 解了二二〇五 電一〇〇九七三 航作概本〇

急 東 通・横通 父島 通信隊



母島警備隊

機密第三三二一六〇八番電 二分ノ一

發 父島根據地隊司令官

須 情須賀鎮守府參謀長

通報 聯合艦隊參謀長 第三航空艦隊參謀長 大本營海軍參謀部第一部長

父島通機密第一九一二五二番電關聯

下 同電所報後ノ新情左ノ通 二十二日二〇三〇・三〇度四八杆ニ艦船ヲシ

キテノ電測セルモ短時間ニ消滅ス二十一日一八一・四〇度五〇杆

ニ出現引續二〇度乃至五〇度間ノ概ネ四〇杆附近ヲ行動二一〇〇・七〇

通 一一三二九六七 一〇日ケ一二二二六 備放 村尾・新倉 (佐藤)



度五〇軒ニテ消滅ス

三敵ハ尙連日日没後數時間塚島附近ニ哨戒艦ヲ配シアルモノノ如シ

三十九日早朝敵驅逐艦ニ墜沈セラレタル陸軍漁船手子後丸乗員三〇名ハ

塚島南部ニ上陸シアルコト判明セリ

四二十一日敵ノラヂオ放送ニ依レバ陸軍機帆船漁船計三隻ハ悉ク敵驅逐

艦ニ墜沈セラレ乗員中ノ五十三名ハ捕獲ナリタルモノノ如シ。

作

六二二
二三
受信〇二三七
譯了〇五〇〇
電自一一一一五
譯始〇四二八
至一一一一七
作概

● 横鎮 戰團概報着信處所

● 横 鎮 戸

機密第二二一七三五番電 三分ノ一、三三

横鎮管區敵機來襲概報

一、B-1二九〇機列島線ニ沿ヒ北上二三三四〇頃ヨリ概ホ單機宛チ

以テ逐次小田原附近ヨリ侵入山梨長野中部ヲ經テ新瀉南西部ヨリ

日本海ニ出テ霞山(一部新瀉附近)ニ機雷投下後反響南下〇ニ

〇頃迄ニ豊橋附近ヨリ退去

通 一一二四二八

一一二四二九
一一四三〇
呂一三六二二(五一一〇六〇) 横通放 馬場(吉井)

(1)

昭和廿年六月廿三日

三 B-129 約五〇機列島線ニ沿ヒ北上青ヶ島附近ヨリ針路ヲ北西ニ轉ス

〇八四〇頃ヨリ逐次熊野灘ヨリ本土ニ侵入奈良 原岐阜及四日市附近

米

ヲ通過一〇二〇頃迄ニハ伊勢灣口附近ヨリ脱去

三 P-151 一六機〇九一五尾鷲附近ヨリ侵入三重縣中南部ヲ行動志摩

半島ヨリ脱去 B-124 一機一〇一〇頃ヨリ約三〇分間熊野灘沿

岸ヲ超低空ニテ行動セリ

四 B-129 一機〇八五三潮岬ヨリ侵入シ名古屋(傳單撒布) 豊橋静岡

ヲ經テ〇九五六駿河灣ヨリ脱去

五 B-129 一機一一四〇志摩半島ヨリ侵入豊橋甲駿川越帝都上空ヲ

經テ一二三三三勝浦ヨリ脱去

昭和十一年六月廿五日

六二四 受信一八二四〇 譯了一八五二 電一八二九 作 稿

至 急

二一突擊隊卜



第二特攻隊 聯合艦隊 吳鎮守

機密第二二二〇一四番電 二分ノ二

三崎附近(太平洋岸)一隊下割加江附近(土佐灣)一隊四万十
川口附近一隊太平洋土佐灣沿岸ハ海象ノ影響ニ依リ使用ノ制限
セラルルコトアリト認ム。

電信課註 本電二分ノ一既配布

通一三二五二 呂一Bケ十二(B) 吳通 奥野(渡)

作

六 二三 受信二三一〇 譯了二一三〇 電一〇五 作概〇
譯始〇八〇〇

人吉航空基地

大分航空基地・佐通・三特攻戦隊ト・五特攻部隊ト
東通・二二聯空

機密第二二二三三五八番電 三分ノ三

右要員ノ控置ハ中央配員上相當困難アルベキモ本月中ニ書類ヲ以テ
人事局ニ之ヲ名簿ヲ送付前年ニ溯リ本年正式ニ異動發令ノコトニ連
絡手配シアリ

三練習生ノ内貴各部ヨリ指宿ニ移動ノ分ハ成ルベク速ニ移動ヲ了シ當

一符字受脱 第二國分空展開促進 一符字受脱アリ度

電信課註 本電三分ノ二既配布 三分ノ二未着

通一二八七六 呂一Bケ一二(四九一五KG) 佐二放 小野寺(深見)

昭和廿年九月廿五日

738

人

六二二三 受信一五〇四 譯了〇一三〇 電自一一五〇八
二四三 譯始〇〇〇七 符 至一一五〇四 航作概本〇



天作戦部隊戦闘概報着信艦所

機密第二三〇八五三番電七分ノ二三三四五六七

戦闘概報(六月二十二日一八〇〇)

二十一日午前ヨリ午後ニ亘リ彩雲二機百司偵一機ヲ以テ沖繩列島線

天候偵察ヲ實施

三菊水十號作戦沖繩周邊艦船攻撃並ニ基地燦撃ノ爲夫々銀河四機重燦

六機(内一機天候不良ノ爲引返ス)天山五機瑞雲八機白菊特攻十一

機零魂特攻八機(内二機不時着)計四二機陸攻十一機(内三機引返

ス)豐原夜戦六(内二機引返ス)計十七機一九〇〇ヨリ二三三〇迄

通 二二五九二 二二六〇六
二二六一五 二二六二一
二二六二九 二二六三六
二二六三七

呂一Bケ一ニ(七八七五KO) G F P

(堀田)

昭和二十六年六月廿四日

二發進二三〇〇ヨリ〇一三〇迄ニ攻撃實施戰果

(1) 艦船攻撃(未歸還機ノ分ヲ含マズ)

空母ヲシキモノ一雷撃(效果不明) 巡洋艦三隻雷撃(内一隻命中)

略確實ニ隻效果不明 驅逐艦一雷撃(效果不明) 艦種不詳一雷撃

(效果不明) 建波岬附近ニ大火災セルヲ認ム 白菊零觀特攻隊ノ

大部ハ電信機ヲ有セザル爲詳細ニ判明セザルモ敵信狀況ニ依レバ

大部ハ二三三〇ヨリ〇一〇〇迄ニ沖繩泊地ニ突入セルコト確實ト

認ム判明セル攻撃狀況左ノ如シ

空母ニ突入ヲ報ゼシモノ一機戰艦ニ突入ヲ報ゼシモノ一機

(2) 基地爆撃(未歸還ノ分ハ含マズ) 北飛行場爆撃セルモノ計四機内

二機ハ全彈命中炎上セルヲ認ム伊江島基地爆撃セルモノ二機内一

機ハ大火焰雲ニ反映スルヲ認ム(一部三式標示彈使用全部炎上)

三式零部隊零夜戦六機〇四〇〇迄ニ發進東ヲ索敵攻撃敵ヲ見ズ

四二十二日〇五三〇迄ニ彩雲一機百司偵一機發進菊水一〇號作戰晝間

攻撃ニ向フ沖繩西海方面ニテ電探偽滿ヲ實施ス

(一)

五、菊水一〇號作戰晝間攻撃隊櫻花六（内二機引返ス）爆戦八櫻花直掩零
 戦隊制空隊紫電（喜界島上空）〇五一三ヨリ〇八〇〇迄ニ發進〇八四
 五ヨリ〇九三〇頃迄ニ沖繩西部ニ突入判明セル戦果左ノ通

(1) 櫻花那覇上空ニテ發進極ニ成功セルモノ一機伊江上空ニ到達セルモ
 ノ二機（内一機ハ空戦ノ爲狀況不明他一機ハ連絡上攻撃態勢ヲトル
 モ櫻花投下セズ爾後空戦ニ入り不明）

(2) 爆戦隊敵戦團機見ユヲ報セルモノ二機機位ヲ失ヒ不時着ヲ報セルモ
 ノ一機他不明ナルモ突入セルモノト認ム

六、被害 現在迄ニ判明セルモノ（徐直掩制空戦團機）自爆未歸還陸攻九
 機彗星夜戦一天山二白菊一〇零進式觀測機六重爆一。

新設事務

日一二七五一 天二日 (B) (舞) 藤井 (吉田)



六 二三 受信二〇八二〇七 譯了二一〇〇 電一一四〇〇 作 概

至 急 舞 領 尸

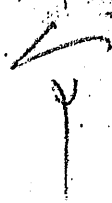
● 六三七三、一五八二〇七各海防艦・沖繩
● 大海參一部・海上護衛總口・一護衛艦隊口・舞領部隊

機密第二三一〇二番電

第二〇七第六(第七五)第一五八海防艦及沖繩ガ六月十九日緊密ナル連絡ノ下ニ七尾沖ニ於テ敵潜水艦ヲヨク捕捉シ適確ナル攻撃ヲ加ヘ確實ニ之ヲ撃沈本府擔任海面ニ於ケル初ノ戦果ヲ舉ゲタルハ大ニ可ナリ。

昭和二十六年六月十四日

741



手

六三三

受信二一〇三
開始一四〇〇

丁一五五六

電一三一五二

作概〇

昭和六年十月九日



東海方面護衛隊指揮官・鮮南方面護衛隊指揮官
二一海防隊

海上護衛總司令部 佐 領 戸

機密第二三一四三四番電

陸軍 一〇〇〇 參謀長
佐世保軍需部

佐世保方面近々大空襲ヲ豫期セラレアル所入渠修理
ノ爲佐世保回航ハ當分眞ニ已ムヲ得ザルモノノミニ制限サレ度

又同地ニ於テハ補給ハ成ルベク夜間急速 行ノコトニサレ度

（東通社 誤作成ニ依リ漏延）

通一三八三二

天二〇ケ十二（五三〇〇）佐通

（關谷 吉辨）